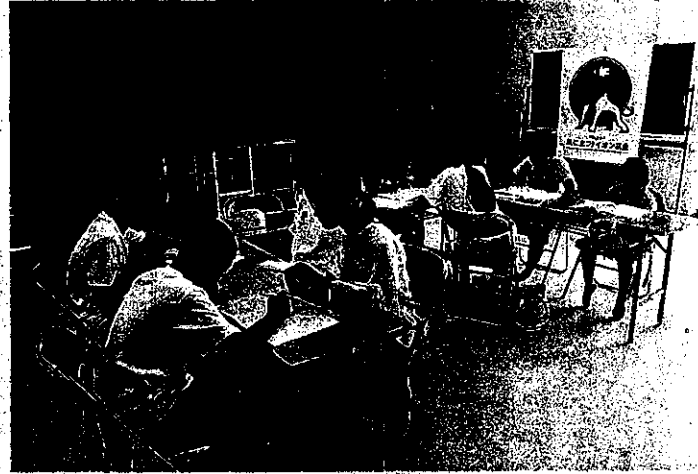


(倉敷・総社圏版)

## 被災小中生の学習支援

総社市社協、ルーム開設

### 高校、大学生が交代で指導



高校生のサポートで宿題に取り組む小中学生

子(12)は「教えてもらいながらだと、すらすら問題が解け勉強に集中できた」と話していた。

学習支援ルームの名称は、公益財団法人・風に立つライオン基金の支援を受けたことから「みんなのライオンカフェ」と名付け、アマゾン・ジャパンがホワイトボードや教材などの学用品を提供した。(古川和宏)

支援ルームを、西公民館(同市秦)に開設している。勉強や遊びを通じ、避難所生活の児童、生徒をサポートする。

西公民館に避難している小1〜中1計6人が対象。8月24日まで、毎週月、水、金曜の午後3時〜5時の2時間、総社、総社南高校の生徒が交代で学習支援に当たる。県立大生もサポートに入る予定。

初日の25日は、総社高生3人が同館を訪問。夏休みの宿題の問題集を解く児童らに丁寧に指導した。中1男

総社市社会福祉協議会は、高校生ボランティアが被災した小中学生に勉強を教える学習